

福岡県医発第1180号(地)

平成17年 9月26日



各医師会長 殿

福岡県医師会
会長 竹嶋 康 弘



医療機関、衛生検査所、地方衛生研究所、保健所等における
病原性微生物等の保有状況及び管理状況調査の実施について

初秋の候 貴職益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、病原性微生物等を保有していると考えられる医療機関、衛生検査所、地方衛生研究所、保健所等に対する、生物テロに使用されるおそれのある病原性微生物等の保有状況についての調査の実施につきましては、平成16年12月24日付福岡県医発第1747号をもってお送りし、その調査結果を踏まえ、管理の強化について平成17年4月22日付福岡県医発第205号をもってお願いしておりました。

今般、更に、クリミア・コンゴ出血熱ウイルス、炭疽菌、多剤耐性結核菌について、病原性微生物等を保有していると考えられる医療機関、衛生検査所、地方衛生研究所、保健所等に対し、調査することとされた旨、厚生労働省結核感染症課長より、各都道府県衛生主管部(局)長宛に通知がなされ、日本医師会感染症危機管理対策室を通じて別添のとおり連絡がありました。

なお、個々の保有状況情報は、収集後公表しないこととされております。

つきましては、貴職におかれましても本件につきましてご了解いただきますようよろしくご高配のほどお願い申し上げます。

小郡三井医師会より

担当理事 友清 明・島田昇二郎



(地Ⅲ 9 1)

平成 1 7 年 9 月 1 3 日

都道府県医師会

感染症危機管理担当理事 殿

日本医師会感染症危機管理対策室長

雪 下 國 雄

医療機関、衛生検査所、地方衛生研究所、保健所等における
病原性微生物等の保有状況及び管理状況調査の実施について

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、医療機関、衛生検査所、地方衛生研究所、保健所等における病原性微生物等の保有状況調査の実施につきましては、平成 1 6 年 1 2 月 2 8 日付（地Ⅲ 1 8 9）をもってお送りし、その調査結果を踏まえ、管理の強化について平成 1 7 年 4 月 1 2 日付（地Ⅲ 7）をもってお願いいたしました。

今般、更に、クリミア・コンゴ出血熱ウイルス、炭疽菌、多剤耐性結核菌について、病原性微生物等を保有していると考えられる医療機関、衛生検査所、地方衛生研究所、保健所等に対し、調査することとしたとして、厚生労働省結核感染症課長より、各都道府県衛生主管部（局）長宛に、通知がなされました。

なお、個々の保有状況情報は、収集後公表しないこととされております。

つきましては、貴職におかれましても、本件についてご了知いただき、よろしくご高配の程お願い申し上げます。



都道府県衛生主管部（局）長 殿

厚生労働省健康局結核感染症課



医療機関、衛生検査所、地方衛生研究所、保健所等における
病原性微生物等の保有状況及び管理状況調査依頼

病原性微生物等の保有状況及び管理状況については、平成16年12月7日付け医政指発第1207002号等による調査を踏まえ、平成17年3月30日付け科発330008号等により、管理の強化をお願いしたところであるが、今般、更に別紙1に記す病原性微生物について保有状況及び管理状況調査を行うこととした。

については、別紙1に記す病原性微生物等を保有していると考えられる管轄内の医療機関、衛生検査所、地方衛生研究所、保健所等に対し、下記要領により調査いただくよう御協力方よろしく願います。政令市、特別区の所管分は都道府県が取りまとめて集計の上、一括して報告されたい。

なお、個々の保有状況情報は、収集後公表しないこととする。

記

1. 調査対象

次に掲げる貴管内の施設であって、平成17年9月1日現在で、別紙1の病原性微生物を保有している可能性があるもの。

- (1) 医療機関（国立高度専門医療センター、国立ハンセン病療養所及び独立行政法人国立病院機構に属する医療機関を含む。）
- (2) 衛生検査所
- (3) 地方衛生研究所
- (4) 保健所
- (5) (1)～(4)以外の施設であってP3レベル（物理的封じ込めレベル）以上の実験室を有するもの（調査時点において把握しているものに限る。）

2. 調査項目

- (1) 病原性微生物等を保有している施設の名称、所在地及び管理責任者の氏名・連絡先
- (2) 保有している病原性微生物等（別紙1）の名称及び用途
- (3) 管理の方法

※ 管轄区域内の各施設に対する調査票については、別紙2を参照されたい。

調査票の集計による、管轄区域内の病原性微生物の保有状況の概要につき、別紙3に記入の上、別紙2及び別紙3を提出されたい。

3. 締切日

平成17年9月16日

4. 調査に当たっての留意事項

- ・ 当該調査により把握された施設名等の情報は危機管理上の観点から公表は行わない。
- ・ 病原性微生物等を保有している施設については、追加で質問を行う場合があること。

（照会先）厚生労働省健康局結核感染症課

TEL : 03-5253-1111（代表）

03-3595-2257（直通）

FAX : 03-3581-6251

別紙 1

【調査の対象となる病原性微生物等】

クリミア・コンゴ出血熱ウイルス、炭疽菌、多剤耐性結核菌

※ 多剤耐性結核菌とは、少なくとも、リファンピシン（RFP）及びイソニアジド（INH）の両剤に耐性の結核菌をいい、他の薬剤への耐性の有無は問わない。

（注）医療機関においては、クリミア・コンゴ出血熱ウイルス、炭疽菌が、「国民の保護に関する基本指針に基づく生物剤及び毒素の保有状況調査）」において調査対象とされていますが、その結果を他の目的に利用できないことから、本調査を行うこととしており、ご協力をよろしくお願いします。

別紙 2

(1) 病原性微生物等を保有している施設の名称、所在地及び管理責任者の氏名・連絡先

施設の名 称： _____
 同所在地： _____
 管理責任者名： _____
 同連絡先： _____

(2) 保有している病原性微生物等（別紙 1）の名称及び目的

病原性微生物等の名称	用途（○で囲んでください）
	診断、研究、その他（ ）
	診断、研究、その他（ ）
	診断、研究、その他（ ）
	診断、研究、その他（ ）
	診断、研究、その他（ ）
	診断、研究、その他（ ）

(3) 管理の方法（複数回答可）

i) 保管管理の場合

- () (a) バイオセーフティ室等において、施設内で一元的に管理されている。
 () (b) 施設内で一元的には管理されていないが、各部門ごとに管理されている。
 () (c) 特に把握されていない。
 () (d) その他（ ）

ii) 管理の手段（i で a, b, d と回答された場合のみご回答下さい。）

- () (a) 病原性微生物等の授受、保有状況が、コンピュータ管理されている。
 () (b) 台帳等により、病原性微生物等の授受、保有状況が常時把握されている。
 () (c) その他（ ）

iii) 管理に関するマニュアルの有無 （ 有 ・ 無 ）

(4) その他、ご意見、貴施設において工夫されていること等があればご記入下さい。

別紙 3

都道府県名： _____

1. 総計

	医療機関	衛生検査所	地方衛生研究所	保健所	その他
調査対象施設数					
病原性微生物等保有施設数					

2. 病原性微生物等保有施設・保有物の詳細

病原性微生物等保有施設		管理責任者		保有している病原性微生物等		管理の方法
名称	住所(市町村)	氏名	連絡先(Tel または email)	名称	用途	

- (注) 1. 用途については、診断を(a)、研究を(b)、その他を(c)と記載のこと。
 2. 管理の方法に関しては、別紙2の(3)の回答に基づき、i a i i b 有などと記載のこと。
 3. 政令市、特別区の所管分は都道府県が取りまとめて集計の上、一括して報告すること。